

すべてを含む、無限に拡張するキリストを、  
わたしたちの命として、また新しい人の構成要素として知り、経験する  
聖書：コロサイ 3:1-4, 15-17

I. わたしたちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストを、わたしたちの命として知り、経験する必要があります：

A. わたしたちはキリストをわたしたちの命として経験するために、わたしたちがキリストと一つの位置、一つの命、一つの生活、一つの運命、一つの栄光を持っていることを見る必要があります——コロサイ 3:1-4. 参照、I コリント 6:17：

1. わたしたちのいる位置は、キリストの中です。わたしたちは彼の中にいるので、彼のいる所にわたしたちもいます。すなわち、神の右に座しています——コロサイ 3:1. ヨハネ 14:20, 17:24. エペソ 2:6：

a. 御子のいる位置は御父の中です（ヨハネ 10:38, 14:10）。わたしたちは御子の中にいるので（I コリント 1:30 前半）、わたしたちは御父の中にもいます（ヨハネ 14:20. I テサロニケ 1:1. II テサロニケ 1:1）。

b. わたしたちは霊の中にいるとき、実際的に、経験的に、キリストの中におり、御父の中におり、天にいます（参照、ヨハネ 14:20）：

(1) わたしたちの霊の中のすべてを含む霊によって、天のキリストから地上のわたしたちに伝達が進行しています——エペソ 1:19, 22-23. 2:22。

(2) 天で御座に座しているキリストは（ローマ 8:34）、今やわたしたちの中に（10 節）、すなわち、わたしたちの霊の中にもいます（II テモテ 4:22）。わたしたちの霊は、神の住まいのある所です（エペソ 2:22）。

(3) 今日わたしたちの霊は神の住まいのある所であるので、それは今や天の門であり、そこにおいてキリストははしごであって、わたしたちを天に結合させ、天をわたしたちにもたらしめます——22 節. 創 28:12-17. ヨハネ 1:51。

(4) いつであれわたしたちは自分の霊に戻るとき、天のはしごとしてのキリストを通して、天の門を通して入り、天にある恵みの御座に触れます。わたしたちの霊は、神聖な伝達を受ける一方の端であり、神の御座は、伝達するもう一方の端です——ヘブル 4:16。

2. 神の命はキリストの命であり、キリストの命はわたしたちの命となりました——コロサイ 3:4. ヨハネ 5:26：

a. キリストがわたしたちの命となることは、彼がわたしたちに対して極みまで主観的になることを意味します——1:4. 14:6 前半. 10:10 後半. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:10, 6, 11。

b. 人をその人の命から分離することは不可能です。なぜなら、人の命はその人自身であるからです。こういうわけで、キリストがわたしたちの命であると言うことは、キリストがわたしたちとなっており、わたしたちが彼と一つの命と生活を持っていることを意味します——ヨハネ 14:6 前半. ピリピ 1:21 前半。

c. 信者たちの命としてのキリストには、三つの特徴があり、それはキリストの命

を天然の命と区別しています：

(1) この命は十字架につけられた命です——ガラテヤ 2:20。

(2) この命は復活した命です——ヨハネ 11:25。

(3) この命は神の中に隠されている命です——コロサイ 3:3-4. マタイ 6:1-6, 16-18。

3. 上にあるものを求め、わたしたちの思いをそれらに置くことは、主の天の務め、すなわち、主の神聖な事業に加わることです。これが、キリストを生きること、キリストの生活と一である生活をするということです——コロサイ 3:1-2：

a. 今日キリストは彼の天の務めにおいて、大祭司として生きており、諸召会のためにとりなしています——ヘブル 8:1. 4:14. 7:25. 4:16. コロサイ 4:2。

b. 今日キリストは彼の天の務めにおいて、天の奉仕者として生きており、聖徒たちにキリストの豊富を供給しています——ヘブル 8:1-2. エペソ 3:8。

c. 今日キリストは彼の天の務めにおいて、神の統治の宇宙的な管理者として生きており、神の定められた御旨を完成します——啓 4:1-2, 5. 5:6. エペソ 1:10-11：

(1) 天の御座から、神聖な伝達は、上にあるものを諸地方召会の中へともたらします—— 19, 22-23 節。

(2) 啓示録第 4 章と第 5 章には、わたしたちの「中央政府」のビジョンがあります。啓示録第 1 章から第 3 章には、「大使館」としての諸地方召会のビジョンがあります。七つの霊を通して、天の「本部」にあるものは、「大使館」としての諸召会の中へと伝達されます。

(3) 諸地方召会の中で起こる事は、天にある神の御座の導きの下にあるべきです。回復は「主の」回復となるために、主の導きの下になければなりません——コロサイ 1:18. 2:19. 啓 4:2-3。

4. わたしたちの運命は栄光です。キリストはわたしたちを栄光へ導き入れています。

それはわたしたちが彼と共に栄光のうちに現されるためです——ヘブル 2:10. コロサイ 3:4。

B. わたしたちの命は、わたしたちの内側に住んでいるキリストです。この命は、キリストと共に神の中に隠されています。神の中に隠されているキリストは、金のつぼの中に隠されているマナによって予表されています—— 3-4 節. 出 16:32-34. 啓 2:17：

1. 隠されたマナとしてのキリストは、金のつぼとしての父なる神の中にいます。御父は契約の箱としてのキリストの中にいます。この契約の箱としてのキリストは神性と人性という彼の二つの性質を持っています。キリストは内住する霊として、わたしたちの再生された霊の中に生きており、至聖所の実際となっています——参照、ヨハネ 14:16-20. II テモテ 4:22。

2. わたしたちはキリストを隠されたマナとして食べるとき、彼の中へと合併されて、神と人との相互の住まいとなります——ヨハネ 15:5, 7. 8:31. 6:57, 63. 14:23。

C. キリストがわたしたちの命であるということは、わたしたちが彼を命とし、彼によって生き、日常生活の中で彼を生きるべきであることを、強く示しています——コロサイ 3:4 前半：

1. キリストは実際的に、経験的にわたしたちの命とならなければなりません。日々

わたしたちは彼の命の中で救われる必要があります—— 4 節. I コリント 15:45 後半. ローマ 5:10。

2. 新しい人は、わたしたちがキリストをわたしたちの命とし、また彼を生きることの自然な結果です——コロサイ 3:3-4, 10-11。

## II. わたしたちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストを、新しい人の構成要素として知り、経験する必要があります：

A. 新しい人の中にはキリストのための余地があるだけです。彼は新しい人のすべての肢体であり、すべての肢体の中にいます。彼は新しい人の中ですべてです——コロサイ 3:10-11。

B. キリストは新しい人の中で、中心性であり普遍性です。キリストは新しい人の構成要素であって、新しい人の中ですべてであり、すべての中にいます。

C. もしわたしたちが新しい人の構成要素であるキリストを生きようとするなら、キリストの平安によって支配されて (12-15 節)、キリストの言葉を住まわせる必要があります (16-17 節)：

1. わたしたちは、キリストの平安に、わたしたちの心を裁定させる必要があります—— 12-15 節. エペソ 2:14-18. ローマ 5:1. マタイ 18:21-35：

a. 「裁定する」というギリシャ語は、「審判する、つかさどる」、あるいは「あらゆる事の支配者、決定者としての位に就く」と訳すこともできます。キリストの裁定する平安は、すべての人に対するわたしたちの不満を解決します——コロサイ 3:13。

b. しばしばわたしたちは、内側に三人の当事者がいることに気づきます。それは積極的な当事者、消極的な当事者、中立的な当事者です。このゆえに、内側の裁定によってわたしたちの内側の争いが解決されることを必要とします：

(1) わたしたちは、わたしたちの存在の内側の異なる当事者が論争し、口論していると感じるときはいつも、キリストのつかさどる平安に地位を与え、新しい人の一であるこの平安に、わたしたちの内側を支配させて、最終決定の言葉を語っていただく必要があります。

(2) わたしたちは自分の意見、観念をわきに置き、内住している審判者の言葉に聞き従う必要があります。

c. もしわたしたちがキリストの平安にわたしたちの心の中で裁定していただくなら、この平安はわたしたちの間のすべての論争を解決します。そしてわたしたちは垂直には神と平安を持ち、水平には聖徒たちと平安を持ちます：

(1) キリストの平安が裁定することを通して、わたしたちの問題は解決し、聖徒たちの間の摩擦は消えてしまいます。そして召会生活は甘さの中に保たれ、新しい人は実際的に維持されます。

(2) キリストの平安が裁定するとは、キリストがわたしたちの内側で働いて、わたしたちに対して彼の支配を行使し、最終決定の言葉を語り、最終決断を下すことです——参照、イザヤ 9:6-7。

(3) もしわたしたちが、王となっているキリストの平安の支配の下にとどまっているなら、人を怒らせたり、損なったりすることはありません。そうではな

く、主の恵みによって、また彼の平安をもって、わたしたちは人に命を供給します。

(4) この平安はすべての信者を共に結び付けるべきであり、結合するきずなとなるべきです——エペソ 4:3。

2. もしわたしたちが新しい人の構成要素であるキリストを生きようとするなら、キリストの言をわたしたちの内に豊かに住ませる必要があります——コロサイ 3:16-17 :

a. キリストの平安がわたしたちの中で裁定して、わたしたちを一と調和とに満ちた状況に保つとき、わたしたちは神の語る場所、神の託宣となります—— 15-16 節. 啓 2:1, 7 :

(1) 神の語りかけは一を要求します。分裂は、神の語りかけを減少させ、完全に停止させさせます——レビ 1:1。

(2) 神の語りかけには一が必要条件であるので、わたしたちはキリストの平安にわたしたちの心の中で裁定していただく必要があります——コロサイ 3:15。

(3) キリストの言がわたしたちの内に豊かに住むことが意味するのは、キリストの言がわたしたちの中で十分な余地を得て、わたしたちの全存在に浸透し飽和するということです。わたしたちがキリストの言にわたしたちの中へと入っていただき、わたしたちの中に住んでいただき、わたしたちの中で勝利を得ていただき、わたしたちの観念、意見、哲学を置き換えていただくことは、極めて重要です——詩 119:130. 参照、啓 21:23. 22:5。

b. わたしたちは、主の言葉にわたしたちの中で第一位を得ていただく必要があります。それは、わたしたちの内側で活動して、キリストの豊富をわたしたちの存在の中へと供給する神の言葉の機能を、わたしたちが経験するためです——コロサイ 3:16 :

(1) 神の言葉は、わたしたちを照らし (詩 119:105, 130)、養い (マタイ 4:4. I テモテ 4:6)、水を注いでわたしたちの渇きをいやします (イザヤ 55:1, 8-11)。

(2) 神の言葉は、わたしたちを強め (I ヨハネ 2:14 後半. 箴 4:20-22)、洗い (エペソ 5:26)、建造します (使徒 20:32)。

(3) 神の言葉は、わたしたちを聖別することによって (ヨハネ 17:17)、わたしたちを完成し、完全にし (II テモテ 3:15-17)、成就します。

c. 神の言葉をわたしたちに住ませることによって、わたしたちは正しい人、すなわち神の属性の実際であるキリストで満たされた神・人になることができます——コロサイ 3:16-25. ピリピ 4:5-8。

3. もしわたしたちがキリストの平安に、わたしたちの中で裁定させて、キリストの言葉で満たされるなら、実際的な方法において新しい人を持つようになります。主の回復全体のすべての諸召会のすべての聖徒たちは、一人の新しい人の中でキリストを生きるようになります。